

## 選考結果総括表

府省庁名 農林水産省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)種苗管理 センター	理事長	野村 文昭	62	H17.4.1	農林水産省 大臣官房統計部生産 流通消費統計課長 [OB]	竹森 三治	60	農林水産省生産局付 (独立行政法人種苗 管理センター西日本 農場長) [OB]	応募総数 4 名 ↓ 書類選考 ↓ (2 名) 面接 ↓ (1 名) 任命権者が選任
(独)農業生物 資源研究所	理事長	石毛 光雄	64	H17.4.1	農林水産省 農林水産技術会議事 務局研究総務官 [OB]	廣近 洋彦	60	独立行政法人 農業生物資源研究所 理事	応募総数 4 名 ↓ 書類選考 ↓ (3 名) 面接 ↓ (3 名) 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

### 独立行政法人種苗管理センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命予定者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	野村文昭	62	H17.4.1	4	H25.3.31	農林水産省大臣官房統計部生産流通消費統計課長	竹森三治	60	農林水産省生産局付（独）種苗管理センター西日本農場長	農林水産大臣	H25.4.1
理事	佐伯弘一	57	H23.4.1	2	H25.3.31	農林水産省生産局総務課人事調整官 【役員出向】				理事長	
理事	波川鎮男	56	H23.4.1	2	H25.3.31	農林水産研修所副所長 【役員出向】				理事長	
監事 (非常勤)	一川邦彦	68	H21.4.1	2	H25.3.31	川崎化成工業(株)常勤監査役 (独)農業生物資源研究所監事(非常勤)				農林水産大臣	
監事 (非常勤)	碓井憲男	65	H19.4.1	2	H25.3.31	公認会計士 (独)農林水産消費安全技術センター 監事(非常勤)				農林水産大臣	

公募

## (独) 種苗管理センター理事長選任理由

本法人の使命は、農林水産物の品種登録に係る栽培試験、農作物の種苗の検査、ばれいしょ及びさとうきびの増殖に必要な種苗の生産・配布等を行うことにより、適正な農林水産植物の品種登録の実施及び優良な種苗の流通の確保を図ることを目的としている。

そうした組織にあって、本ポストには、法人を代表して、国をはじめ国内外の関係機関と連絡調整を図りながら、法人の業務を総理して、中期目標や中期計画の達成に向けて、リーダーシップを発揮して業務を的確に遂行することが求められる。

本件公募に対しては、4人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、適任と認められた1人を任命権者に提示し、これに基づき、農林水産大臣が竹森三治氏を選任したところである。

任命理由は、種苗管理センター西日本農場長としての経験を有し、本法人の職務に関する知識が豊富であり、職務の内容を理解しているなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、組織の改革、再編に対する認識があり、リーダーシップが期待できることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。

### 独立行政法人農業生物資源研究所役員名簿新旧対照表

役職	現任者						任命予定者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	石毛光雄	64	H17.4.1	4	H25.3.31	農林水産省農林水産技術会議事務局研究総務官	廣近洋彦	60	(独)農業生物資源研究所基盤研究領域長 (独)農業生物資源研究所理事	農林水産大臣	H25.4.1
理事	廣近洋彦	60	H23.4.1	2	H25.3.31	(独)農業生物資源研究所基盤研究領域長				理事長	
理事	新保博	63	H19.4.1	2	H25.3.31	(独)農業生物資源研究所統括研究主幹				理事長	
監事	長谷川峯夫	65	H21.4.1	2	H25.3.31	キューピー(株)取締役研究所所長				農林水産大臣	
監事 (非常勤)	一川邦彦	68	H21.4.1	2	H25.3.31	川崎化成工業(株)常勤監査役 (独)農業生物資源研究所監事(19.4~21.3常勤) (独)種苗管理センター監事(非常勤)				農林水産大臣	

## (独) 農業生物資源研究所理事長選任理由

本法人の使命は、生物資源の農業上の開発、利用に関する技術上の基礎的な調査及び研究並びに昆虫その他の無脊椎動物の農業上の利用に関する技術上の試験及び研究等を行うことにより、生物の農業上の利用に関する技術の向上に寄与することを目的としている。

そうした組織にあって、本ポストには、法人を代表して、海外の研究機関や国をはじめ、地方公共団体や民間企業、大学、独立行政法人など国内関係機関と連絡調整を図りながら、法人の業務を総理して、中期目標や中期計画の達成に向けて、リーダーシップを発揮して業務を的確に遂行することが求められる。

本件公募に対しては、4人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、適任と認められた3人を任命権者に提示し、これに基づき、農林水産大臣が廣近洋彦氏を選任したところである。

任命理由は、現職の農業生物資源研究所理事としての経験を有し、組織を熟知していることなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、博士の学位を持ち、研究者としてすぐれた実績をあげており、人物的にもすぐれていることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。

## 選考委員会の属性について

### 【農林水産省】

- ・ 独立行政法人種苗管理センター 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授等	2名
・ ジャーナリスト	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>1名</u>
計	4名

- ・ 独立行政法人農業生物資源研究所 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授等	2名
・ ジャーナリスト	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>1名</u>
計	4名